

# ロートアイアン製子柱手摺 取付け説明書ならびに注意事項



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

**紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付け後はお施主様にも必ずお渡してください。**

注意!

**本製品は、転落防止手摺となります。それ以外の機能として使用されることは絶対にしないでください!**

## ～取付けされる方へのお願い～

本書面に使用されている記号には、以下のような意味があります。

- 取付けを誤った場合に、使用者の人為的な危険又は物的の損害発生が想定されます。  
下記にまとめて記載していますので、必ずお読みください。
- ★ 取付け説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- ◆ 取付け説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

## 注 意

■ 本体の落下の原因となることがありますので、下記事項を必ずお守りください。

### ●取付け場所

- ・必ず管柱、間柱(裏地材)、合板等の木下地材を使用して、本製品と共に木製部材と共に取り付けてください。下地材がない場合、金物等が十分にきかず、ぐらつきや強度不足となり、本体落下による人的・物的被害が発生する場合があります。
- ・本製品は、住宅や建物の屋内のみ使用する物となります。親柱、手摺、笠木、ロゼット及びその他木製品の耐久性より屋外では必ず使用しないでください。
- ・木製製品の腐れにより、手摺部材に使用される製品が外れたり、強度が低下する恐れがある為、浴室等湿気が多い場所や水がかかる場所での使用は避けてください。

### ●取付け・作業について

- ・取付けは必ず専門業者様が行ってください。専門知識のない方が施工されますと、ぐらつきや強度不足となり、本体落下の原因となることがあります。
- ・施工は必ず2名以上で行い、特に吹き抜けや階段廻り等は、転落の危険がないように建築足場がある状態で作業を行ってください。
- ・施工する際、不慮の怪我等を防ぐ為、必ずヘルメット・作業用手袋・防塵メガネ、安全靴、長袖作業着、安全帯着用等の保護具を装着してください。思わぬ怪我をするおそれがあります。



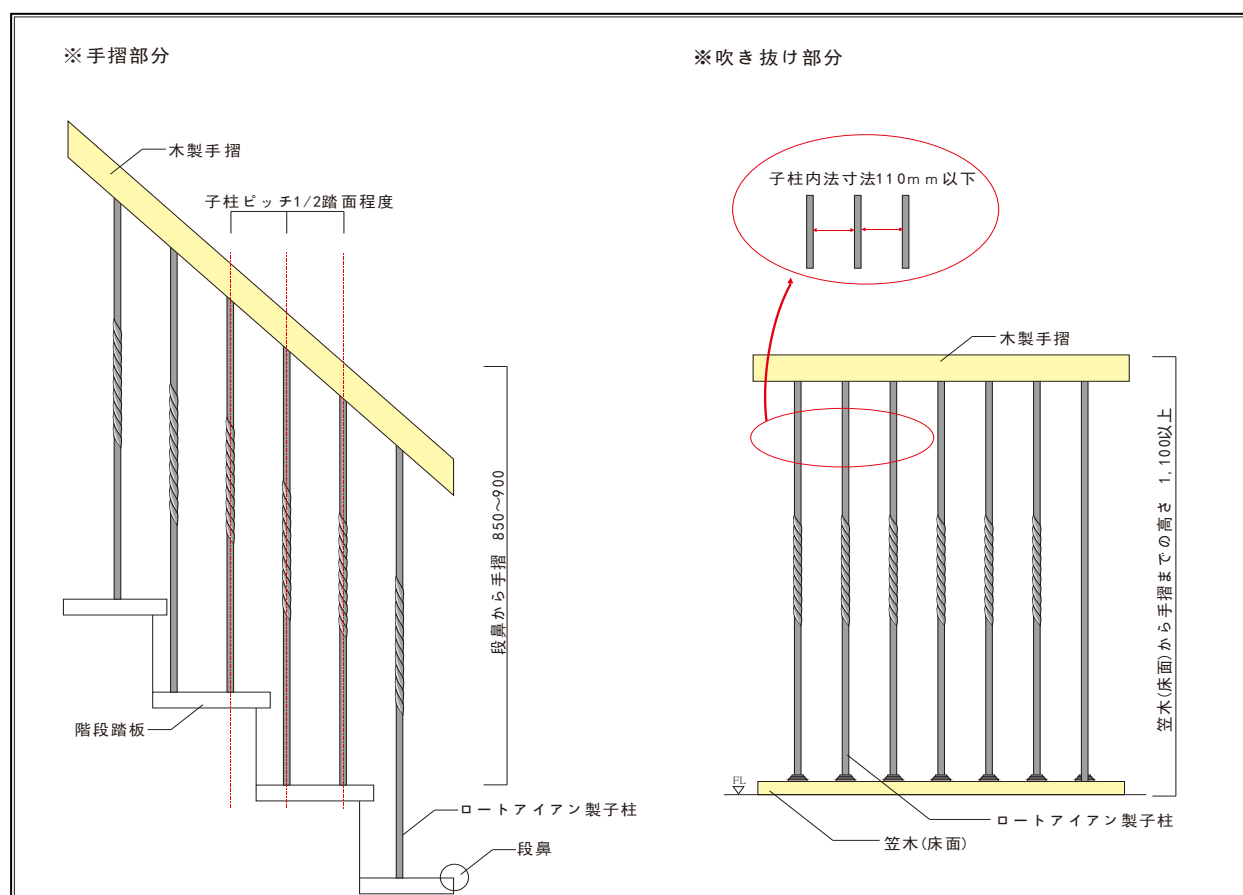
- ・ビスの破損や、取付け不安定による手摺の外れ、転落・転倒事故を防ぐ為、各部材を取付ける際、

電動ドライバーのトルクを調整し、ビスを空転させないようにしてください。

- ・製品の傷や破損を防ぐ為、施工前の部材の仮置き保管は、湿気や直射日光が当たる場所を避け、床面が水平で安全な場所に保管してください。
- ・製品の色ムラの原因となるため、部材に木工用ボンドが付着した場合は、直ぐに濡れたタオルで拭き取ってください。また、塗装済み部分をシンナー等で拭かないようにしてください。

### ●手摺の取付け位置について

- ・手摺の高さは下記内容をお守りください。
- ・下図のように、階段部分については段鼻から850～900に、2階吹き抜け部分などは床面から高さ1,100mm以上に設置してください。
- ・2階吹き抜け部分のロートアイアン子柱の間隔は、子供がすり抜けないように、内法110mm以内としてください。
- ・階段部分のロートアイアン子柱はデザインの組み合わせによりますが、階段踏板につき、2本設置する事をお勧めします。



### ●取付け場所の準備、確認

- ・製品の梱包を開梱したら、まず各部材に傷や破損が無いかを確認してください。建物へ取付け後の損傷クレームについては責任を負いかねますので、必ず取付け前に確認してください。
- ・製品の強度確保の為、取付け場所には設計時に管柱、間柱、合板等の木下地材を中空部がないように必ず入れるようにしてください。
- ・管柱、間柱、合板等の木下地材の位置が不明な場合、および木下地材の強度を保持できない場合は、本製品は取付けないでください。
- ・取付け場所に電気、ガス、水道等の配線及び配管が無いかを必ず確認してください。他機器の作動不良の原因となります。

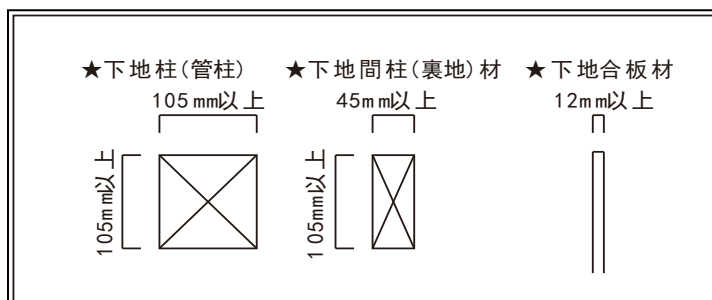
- ・ 本製品を取付ける場所及び周辺に傷が発生しない様に、養生を施してください。

### ●構造躯体の下地材

- ・ 下地材の断面寸法(在来工法の場合)

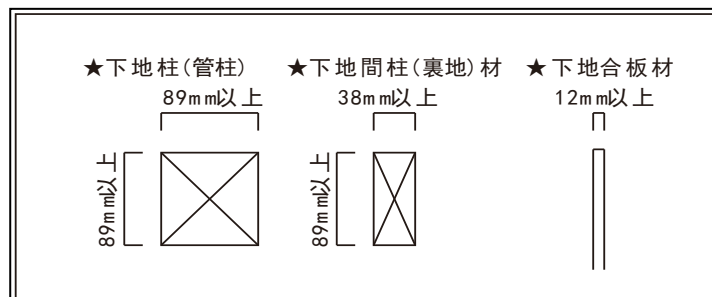
(在来工法の場合)

- 管柱 : 105mm×105mm以上
- 間柱(裏地)材 : 45mm×105mm以上
- 合板材 : 12mm以上



(2×4工法の場合)

- 管柱 : 89mm×89mm以上
- 間柱(裏地)材 : 38mm×89mm以上
- 合板材 : 12mm以上



### ●施工時の注意

- ・ 各金物の下穴は、指定されたドリルであけてください。
- ・ 取付け時に使用する金物類は付属しておりません。取付け場所の下地材にあった金物をご使用ください。

### ●仮固定作業中の注意

- ・ 転落やその他の事故を防ぐ為に、仮固定作業中は施工場所周囲に安全防護柵を施す等をし、手摺が使用できない事が分かるようにしてください。

### ●施工完了時の注意

- ・ 取付け後、本製品のぐらつきがないか、必ず点検してください。
- ・ 歪みやがたつき、ぐらつきがあると落下等のおそれがあるため、ある場合には手直しをしてください。

### ●その他禁止事項


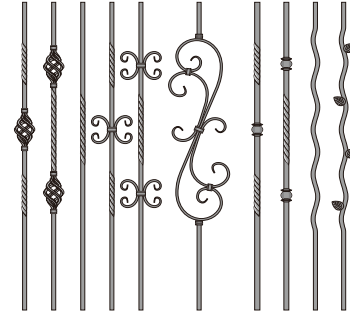
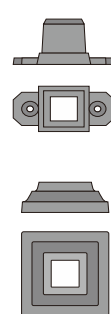










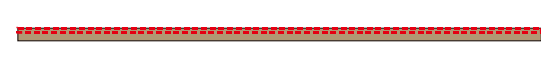

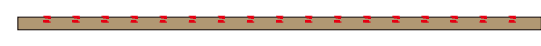




- ・ 上に登ったり、ゆすったり、ぶら下がったり、遊んだり、はしごをかけたり、布団や洗濯物を干したり等は絶対にしないでください。

### ■使用する工具、副資材

コンベックス	水平器	さしがね	自在スコヤ	のこぎり	のみ
防雨型延長コード	インパクトドライバー	振動(電動)ドリル	掃除機	孔内清掃用ブラシ	トリマー
				φ5mm、φ6mm用	

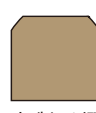
電動丸鋸	木製用下穴ドリル錐	インパクト用プラスビット	木工用ボンド	下げ振り	レーザー墨
	 φ20mm用				

■製品名称及びサイズ (詳細は別紙図面をご参照ください)


商品名	木製親柱	ロートアイアン製子柱	ボトムキャップ	木製ロゼット
姿 図				
商品名	姿 図			
木製手摺	溝無し			
	1本溝突き通し			
	子柱1本毎穴開け			
笠木 (ボーダー)	溝無し			
	1本溝突き通し			
	子柱1本毎穴開け			
埋め木 (フィレット)	手摺用			
	笠木用			


■加工方法について

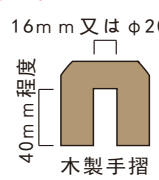
A 木製手摺、笠木(ボーダー)加工無しの場合  
↓  
木製手摺、笠木(ボーダー)共に現場加工してください。

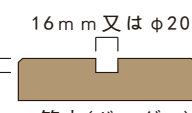
  
木製手摺

→

  
笠木(ボーダー)



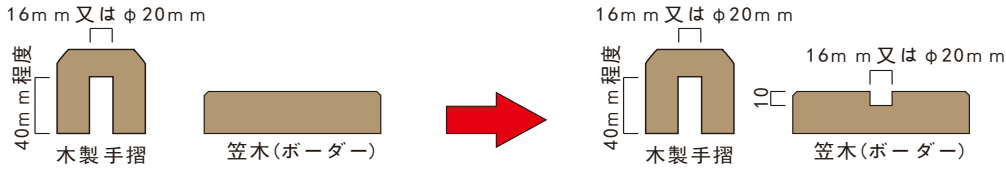
  
16mm又はφ20mm  
40mm  
木製手摺

  
16mm又はφ20mm  
笠木(ボーダー)

- 木製手摺は深さ40mm程度で1本溝突き又はロートアイアン製子柱内法寸法110mm以下で丸穴φ20mmを開けてください。
- 笠木(ボーダー)は深さ10mm程度で1本溝突き又はロートアイアン製子柱内法寸法110mm以下で丸穴φ20mmを開けてください。
- 1本溝突きの場合、フィレット(埋め木)を使用して、ロートアイアン製子柱-フィレット(埋め木)の順で溝を埋めてください。フィレット(埋め木)の固定はフィニッシュ釘又は木工用ボンドで固定してください。

B 木製手摺1本溝突き又は丸穴φ20mm加工有り、笠木(ボーダー)加工無しの場合

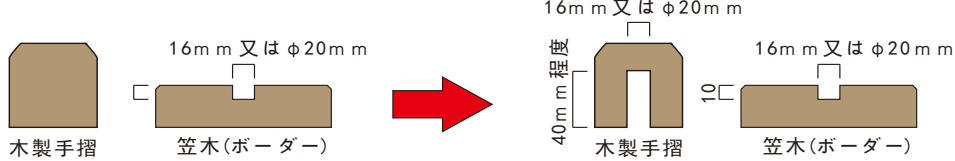
↓  
笠木(ボーダー)のみ現場加工してください。



- 笠木(ボーダー)は深さ10mm程度で1本溝突き又はロートアイアン製子柱内法寸法110mm以下で丸穴φ20mmを開けてください。
- 1本溝突きの場合、フィレット(埋め木)を使用して、ロートアイアン製子柱-フィレット(埋め木)の順で溝を埋めてください。フィレット(埋め木)の固定はフィニッシュ釘又は木工用ボンドで固定してください。

C 木製手摺加工無し、笠木(ボーダー)1本溝突き又は丸穴φ20mm加工有りの場合

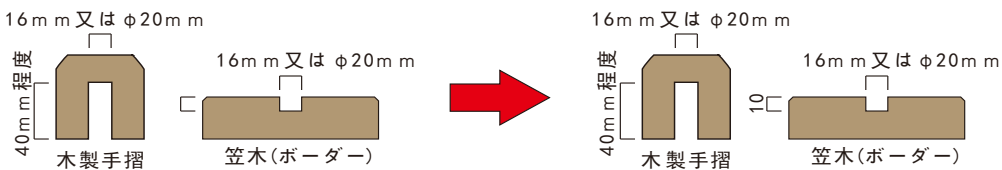
↓  
木製手摺のみ現場加工してください。



- 木製手摺は深さ40mm程度で1本溝突き又はロートアイアン製子柱内法寸法110mm以下で丸穴φ20mmを開けてください。
- 1本溝突きの場合、フィレット(埋め木)を使用して、ロートアイアン製子柱-フィレット(埋め木)の順で溝を埋めてください。フィレット(埋め木)の固定はフィニッシュ釘又は木工用ボンドで固定してください。

D 木製手摺、笠木(ボーダー)1本溝突き又は丸穴φ20mm加工有りの場合

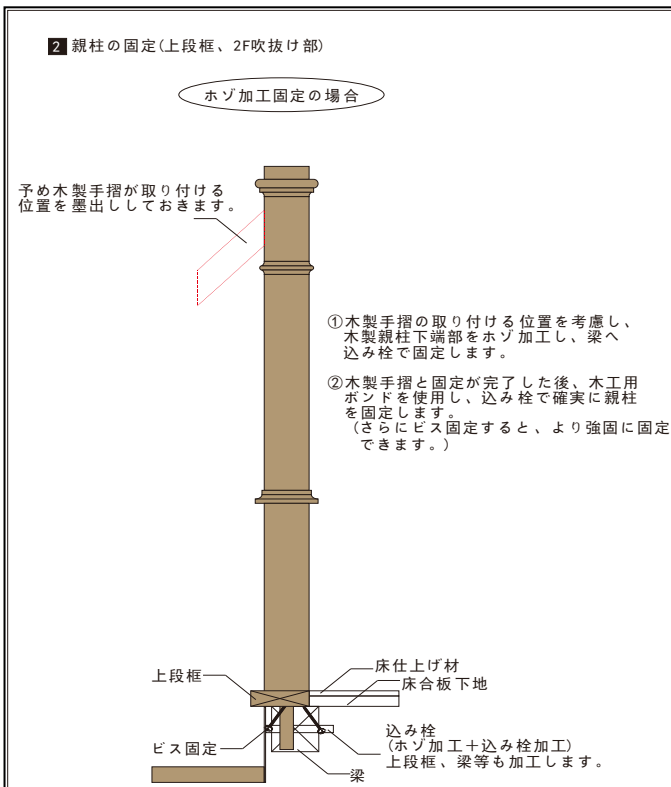
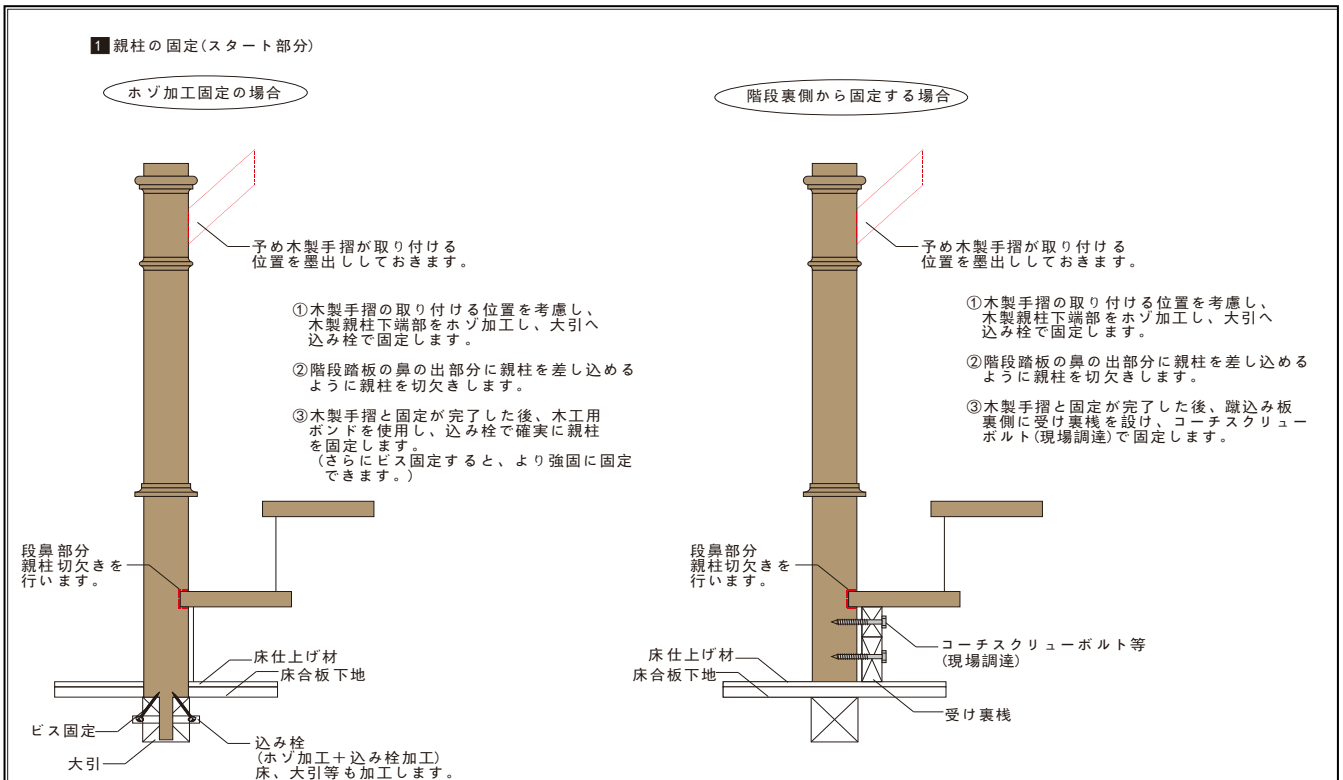
↓  
現場で加工する必要はありません。



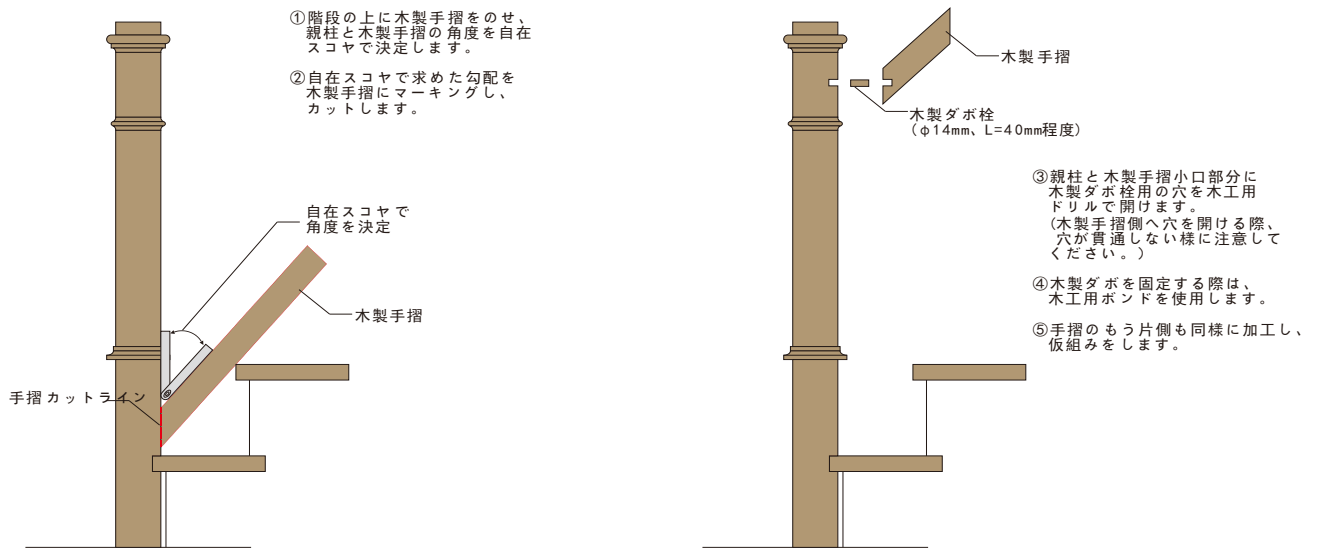
- 1本溝突きの場合、フィレット(埋め木)を使用して、ロートアイアン製子柱-フィレット(埋め木)の順で溝を埋めてください。フィレット(埋め木)の固定はフィニッシュ釘又は木工用ボンドで固定してください。

## ■ 取付け方法

### ★ 階段部分について

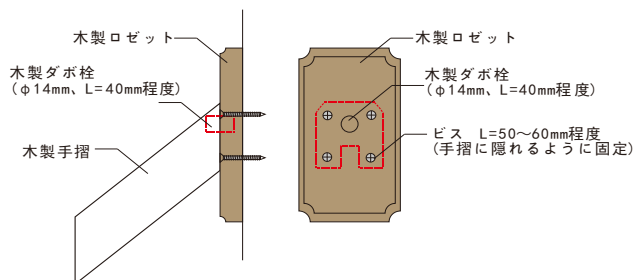


### 3 木製手摺の固定



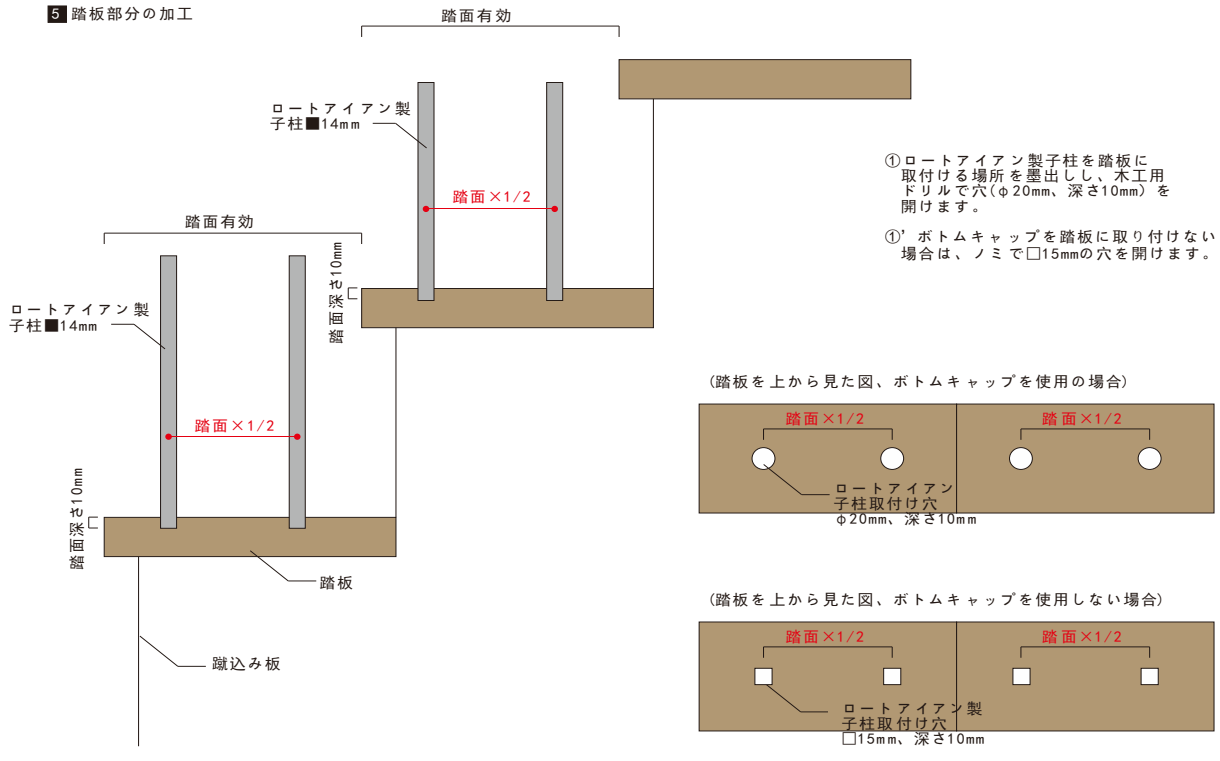
### 4 木製ロゼットの固定

※木製ロゼット取付け位置には必ず下地材を入れてください。

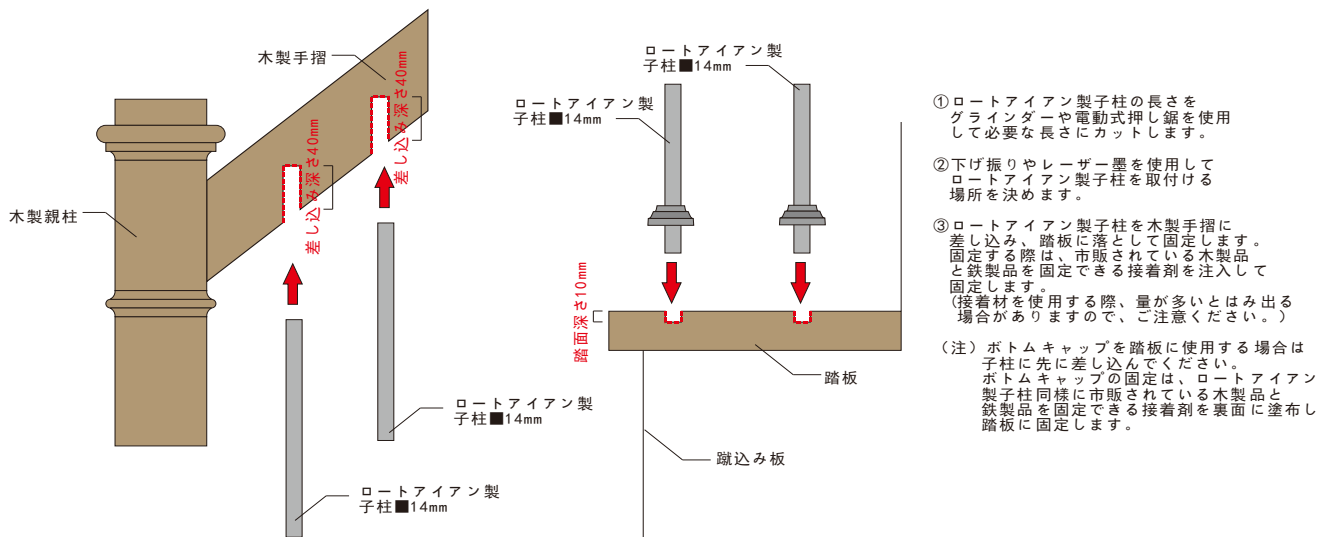


- ①木製手摺が納まる位置および木製ダボ栓の差し込み位置を決め、木製ロゼットを壁にビスで固定します。(ビスの頭が飛び出ない様に皿ビスを使用し、木製ロゼットに座繰りしてください。)
- ②木製手摺および木製ロゼットに木製ダボ栓用の穴を木工用ドリルで開けます。(木製手摺側へ穴を開ける際、穴が貫通しない様に注意してください。)
- ③木製ダボを固定する際は、木工用ボンドを使用します。

5 踏板部分の加工

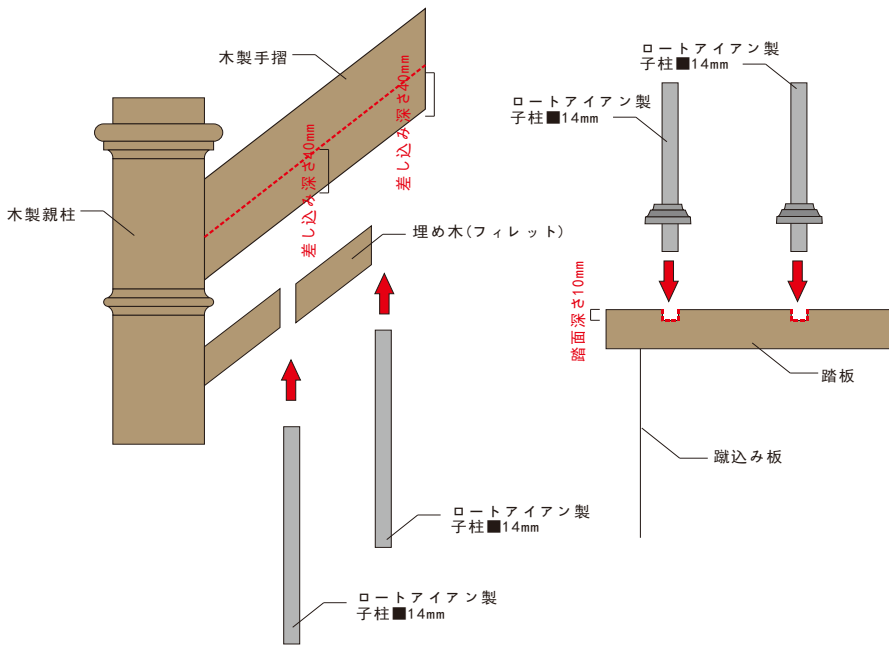


6 ロートアイアン製子柱、ボトムキャップ(座金)の取付け  
(子柱1本毎穴開けの場合)





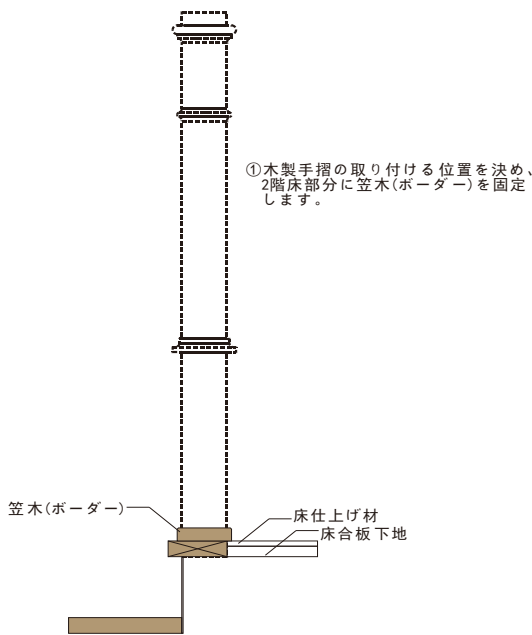
7 ロートアイアン製子柱、ボトムキャップ（座金）の取付け  
（1本溝突き通しの場合）



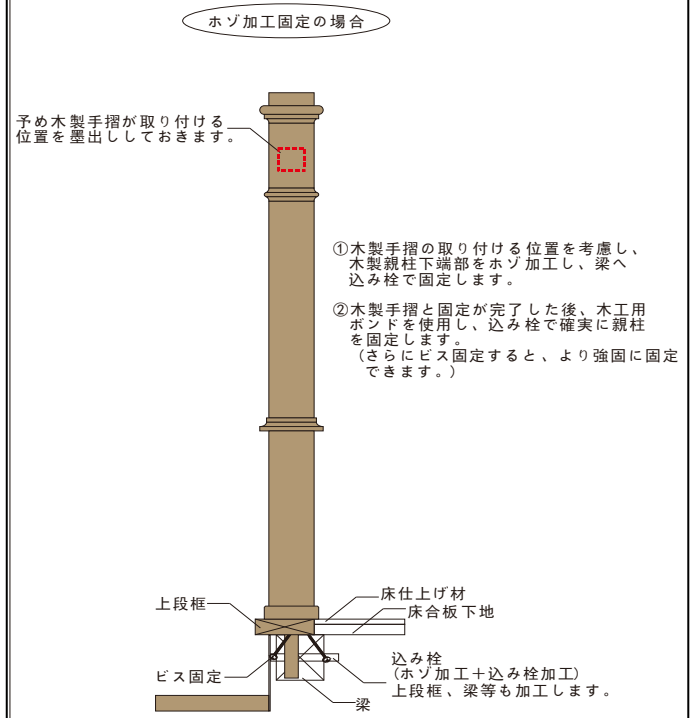
- ① ロートアイアン製子柱の長さをグラインダーや電動式押し鋸を使用して必要な長さにカットします。
  - ② 下げ振りやレーザー墨を使用してロートアイアン製子柱を取付ける場所を決めます。
  - ③ ロートアイアン製子柱を木製手摺に差し込み、踏板に落として固定します。固定する際は、市販されている木製品と鉄製品を固定できる接着剤を注入して固定します。  
(接着剤を使用する際、量が多いとはみ出る場合がありますので、ご注意ください。)
  - ④ 埋め木(フィレット)も同様に長さカットをし、ロートアイアン製子柱と埋め木の順で固定します。埋め木の固定は木工用ボンドを使用します。
- (注) ボトムキャップを踏板に使用する場合は子柱に先に差し込んでください。ボトムキャップの固定は、ロートアイアン製子柱同様に市販されている木製品と鉄製品を固定できる接着剤を表面に塗布し踏板に固定します。

★ 2階吹抜け部分について

1 笠木(ボーダー)の固定(2F吹抜け部)

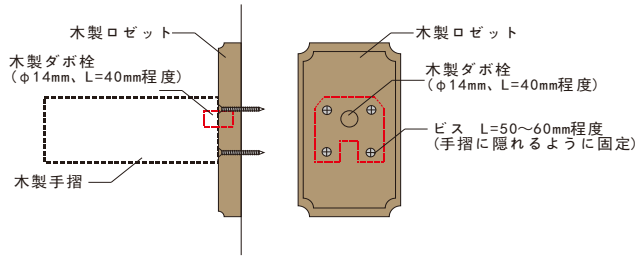


2 親柱の固定(上段框、2F吹抜け部)



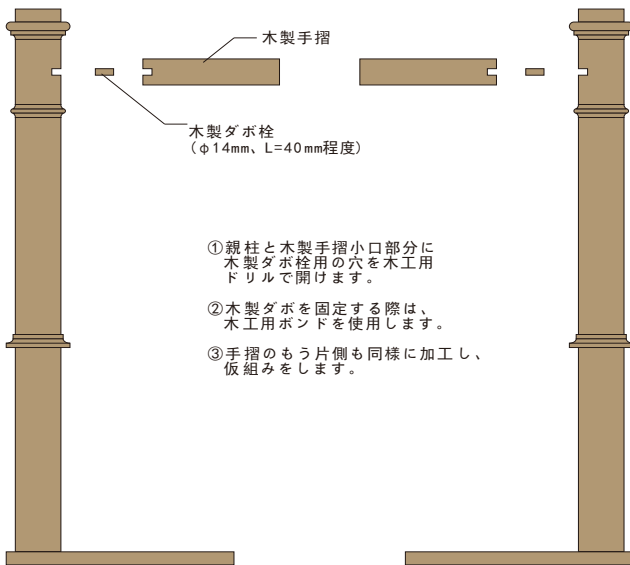
### 3 両サイド壁仕上の場合

※木製ロゼット取付け位置には必ず下地材を入れてください。

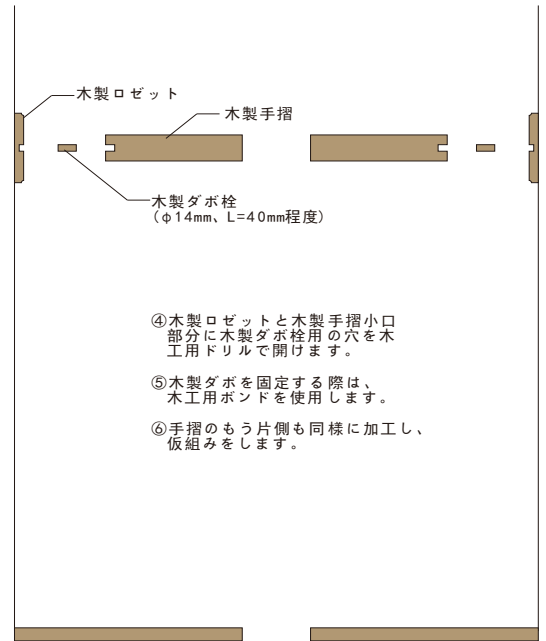


- ①木製手摺が納まる位置および木製ダボ栓の差し込み位置を決め、木製ロゼットを壁にビスで固定します。  
(ビスの頭が飛び出ない様に皿ビスを使用し、木製ロゼットに座繰りしてください。)
- ②木製手摺および木製ロゼットに木製ダボ栓用の穴を木工用ドリルで開けます。  
(木製手摺側へ穴を開ける際、穴が貫通しない様に注意してください。)
- ③木製ダボを固定する際は、木工用ボンドを使用します。

### 4 木製手摺の固定

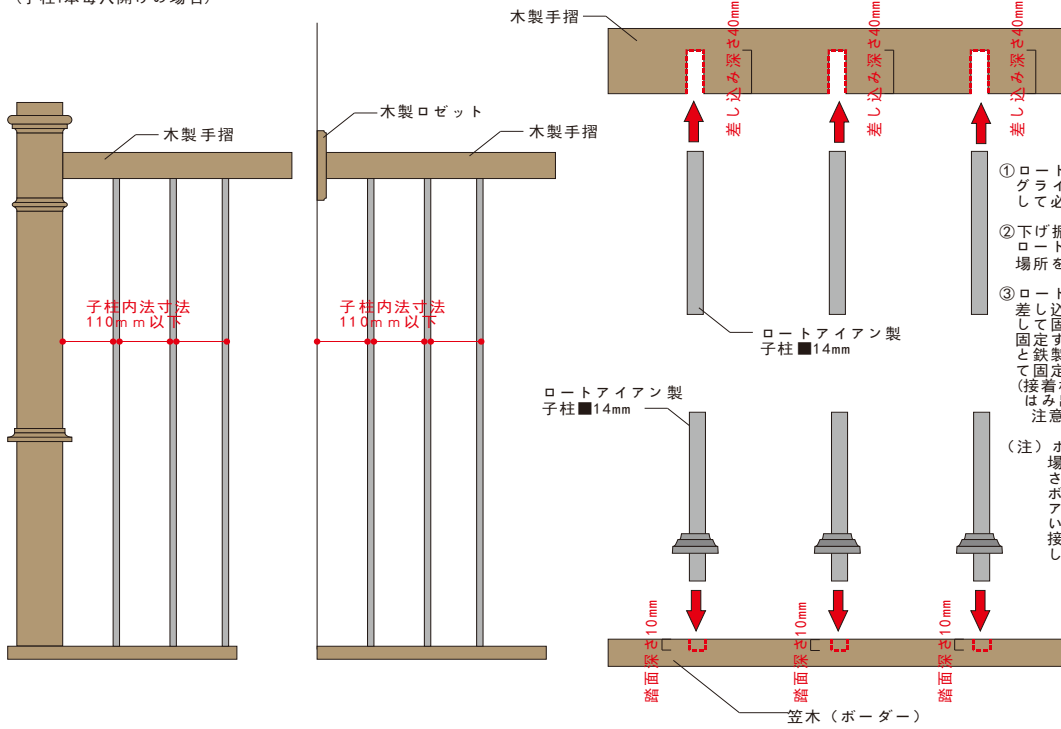


- ①親柱と木製手摺小口部分に木製ダボ栓用の穴を木工用ドリルで開けます。
- ②木製ダボを固定する際は、木工用ボンドを使用します。
- ③手摺のもう片側も同様に加工し、仮組みをします。



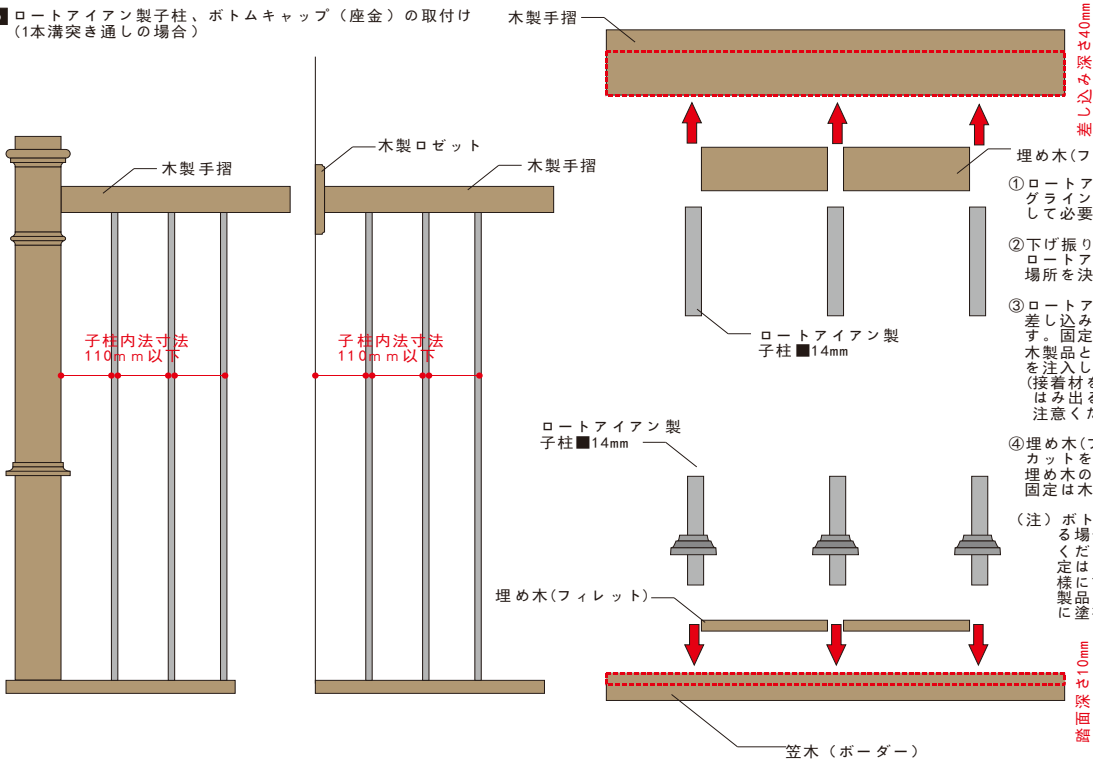
- ④木製ロゼットと木製手摺小口部分に木製ダボ栓用の穴を木工用ドリルで開けます。
- ⑤木製ダボを固定する際は、木工用ボンドを使用します。
- ⑥手摺のもう片側も同様に加工し、仮組みをします。

5 ロートアイアン製子柱、ボトムキャップ（座金）の取付け  
（子柱1本毎穴開けの場合）



- ① ロートアイアン製子柱の長さをグラインダーや電動式押し鋸を使用して必要な長さにカットします。
  - ② 下げ振りやレーザー墨を使用し、ロートアイアン製子柱を取付ける場所を決めます。
  - ③ ロートアイアン製子柱を木製手摺に差し込み、笠木（ボーダー）に落として固定します。固定する際は、市販されている木製品と鉄製品を固定できる接着剤を注入して固定します。（接着剤を使用する際、量が多いとはみ出る場合がありますので、ご注意ください。）
- （注）ボトムキャップを踏板に使用する場合は子柱に先に差し込んでください。ボトムキャップの固定は、ロートアイアン製子柱と同様に市販されている木製品と鉄製品を固定できる接着剤を表面に塗布し踏板に固定します。

6 ロートアイアン製子柱、ボトムキャップ（座金）の取付け  
（1本溝突き通しの場合）



- ① ロートアイアン製子柱の長さをグラインダーや電動式押し鋸を使用して必要な長さにカットします。
  - ② 下げ振りやレーザー墨を使用し、ロートアイアン製子柱を取付ける場所を決めます。
  - ③ ロートアイアン製子柱を木製手摺に差し込み、笠木（ボーダー）に落として固定します。固定する際は、市販されている木製品と鉄製品を固定できる接着剤を注入して固定します。（接着剤を使用する際、量が多いとのはみ出る場合がありますので、ご注意ください。）
  - ④ 埋め木（フィレット）も同様に長さカットをし、ロートアイアン製子柱と埋め木の順で固定します。埋め木の固定は木工用ボンドを使用します。
- （注）ボトムキャップを笠木に使用する場合は子柱に先に差し込んでください。ボトムキャップの固定は、ロートアイアン製子柱と同様に市販されている木製品と鉄製品を表面に塗布し踏板に固定します。

■階段部分参考写真



※親柱の加工



※親柱の形状



※親柱の取り付け



※親柱の取り付け



※ロゼットの取り付け



※踏板の加工



※木製手摺取り付け



※木製手摺取り付け



※子柱の取り付け

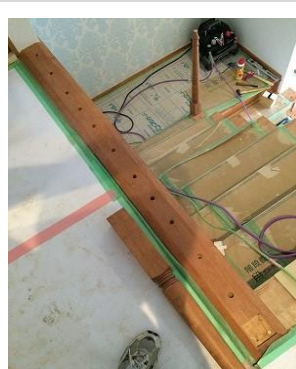


※子柱の取り付け

■吹抜け部分参考写真



※笠木の加工



※笠木の取り付け



※笠木の取り付け



※笠木の取り付け



※親柱の取り付け



※親柱の取り付け



※木製手摺加工



※ロゼットの取り付け



※木製手摺取り付け



※木製手摺取り付け



※木製手摺取り付け



※木製手摺取り付け



※子柱の取り付け



※子柱の取り付け



※子柱の取り付け



※子柱の取り付け

■完成写真

